



旗振り当番の手順とポイント

西北小学校育友会 交通安全指導部

令和7年度作成

旗振り当番の手順

旗振り当番について

■ 旗振り当番日 一人一役のお知らせを参照

■ 旗振り時間 7:30~8:00

■ 旗振り場所 双倉橋横断歩道

■ 交通安全グッズ 横断旗・タスキ・旗振り日誌

■ 当番の流れ

- ① 横断旗とタスキを小学校の教職員出入口に取りに行く
- ② 双倉橋横断歩道で旗振り活動をする(★の位置)
- ③ 横断旗とタスキを元の場所へ戻す
- ④ 旗振り日誌を記入する

※旗振り日誌は必ず記入してください

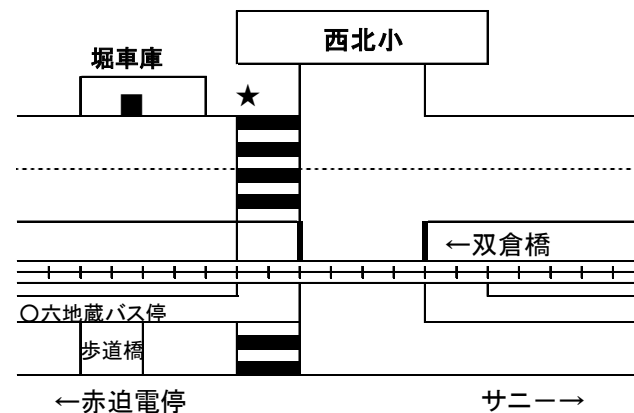
教職員出入口



交通安全グッズ



旗振り場所(双倉橋横断歩道)



ボランティア等による交通指導要領

基本的な心得

- (1) 学童・園児等の保護誘導は、愛情をもって適切に行ってください。
- (2) 運転者の視野を妨げたり、歩行者の妨害となるような駐車車両、物件などは移動してもらうなど協力をお願いしてください。
- (3) 交通の流れに即した誘導を行う。横断者の安全を第一とするが、一人二人のため多くの自動車等を止めて、交通の流れを妨げたり、また横断者が続くからといって、あまり長時間自動車を止めないように配慮してください。
- (4) 車の流れが途切れるような時間を見計らい、車が止まってから横断者を何人かまとめて速やかに横断させるようにしてください。
- (5) 合図に従って止まってくれた運転者には、軽く会釈するなど感謝の気持ちを表し、良い人間関係を保つように努めること。
- (6) 警察官等が現場において指導活動を行っている時は、これに合わせて補助するよう心掛け協力してください。
- (7) 天候・季節・曜日・時刻等によって、車両台数、スピード等も変化することがありますので注意しましょう。
- (8) あいまいな合図や行動をとったり、身体で車をとめようとしたり無理な行動は避けましょう。

立つ位置の選定

立つ位置の選定に当たっては、自らが事故に遭わないことを基本に次のことに注意してください。

- (1) 周囲の道路や交通の状況がよく見える場所を選定すること。
- (2) 運転者や歩行者から整理員がよく見える場所を選定すること。
- (3) 通行車両の妨害とならず、かつ、安全な場所を選定すること。
- (4) **歩道と車両の区別のある場所では歩道に**、歩道のない場所では道路の端の安全な場所を選定すること。
- (5) 車の進行方向に対して横断歩道の手前に位置し、体は原則として車道に向けること。
- (6) 2人以上で指導するときは、1人をリーダーとし、道路を挟んで両側に位置し、リーダーの合図にあわせること。



横断旗の使い方

歩行者信号が「赤」の時



子どもが飛び出さないように旗を地面と水平に持ちます。

車両用信号が「赤」に変わったら

(歩行者信号もまだ赤)



車が止まったことを確認して、



旗をとつぜん道路に出さず、
いったん頭上に上げて、
大きくわかりやすい動作で
右手に持ち替えます。



左手で子どもが飛び出さないように防ぎます。

横断旗の使い方

歩行者信号が「青」の時



旗先の「横断中」の文字が運転手に見える位置（肩の位置くらい）に真横に上げ、子どもを渡らせます。

歩行者信号が「点滅」の時

1

左手で横断歩道をふさいで、後から来る子どもを止めます。

すでに横断中の子どもは早めに渡らせてください。



2

とつぜん旗を戻すと子どもにぶつかる恐れがあるので、旗を一度頭上に上げてからもとに戻します。



安全に行うために注意すること

立つ位置

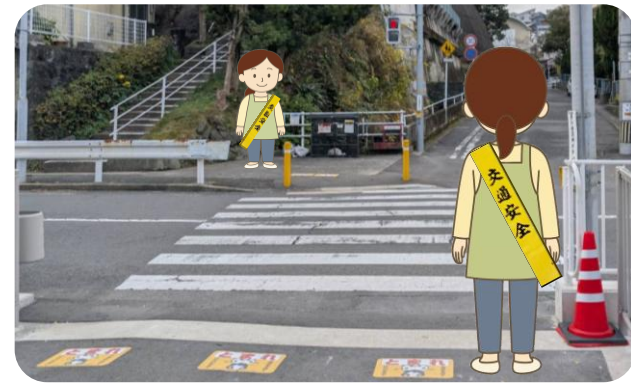


必ず**歩道**の上で行ってください。



車道には出ないでください！

当番が2名の場合



道を挟んでイラストの位置に立ってください。

- 子ども達が事故に遭わないように気をつけていただくことはもちろんですが、交通指導をされている保護者の皆さまが事故に遭わないように十分気をつけてください。
- あくまでも補助的に行っているということを念頭において無理な行動はなさらないでください。
- 子ども達が横断するときは「おはよう」「いってらっしゃい」などできる限り声をかけてください。